

防災分野における研究開発の国際展開 －今後の推進にあたっての具体的な事項－

「第 4 期科学技術基本計画の策定に向けた基本的な考え方－防災分野の重要事項」(防災分野の研究開発に関する委員会(以下、防災の委員会)第 53 回資料 53-5、平成 21 年 10 月)では、目指すべき国の姿の中で「防災科学技術分野で強いリーダーシップを発揮し、国際的に尊敬される国づくり」を掲げている。

そのため、「防災の委員会」において、防災科学技術の国際展開に関して、現在実施されている国際研究事業等の状況を調査するとともに、現状での課題や効果的な国際展開の方向性等について整理し、今後の具体的方策等を取りまとめる。

○今後の審議予定：

① 2 / 10 (水)：第 5 4 回 防災の委員会：

- ・委員に議案および進め方の提示
- ・実施中または実施予定の国際案件に関する調査開始

② 3 / 9 (火)：第 5 5 回 防災の委員会：

- ・現在実施中事業等の進捗状況紹介と委員ヒアリング
- ・実施中または実施予定の国際案件に関する調査報告

③ 3 月～4 月：・意見取りまとめ

④ 5 月～6 月：第 5 6 回防災の委員会：

- ・意見とりまとめの報告

○とりまとめ項目

- ・現在実施中の国際研究事業
- ・現状の課題
- ・効果的な国際展開の方向性
- ・今後の具体的方策

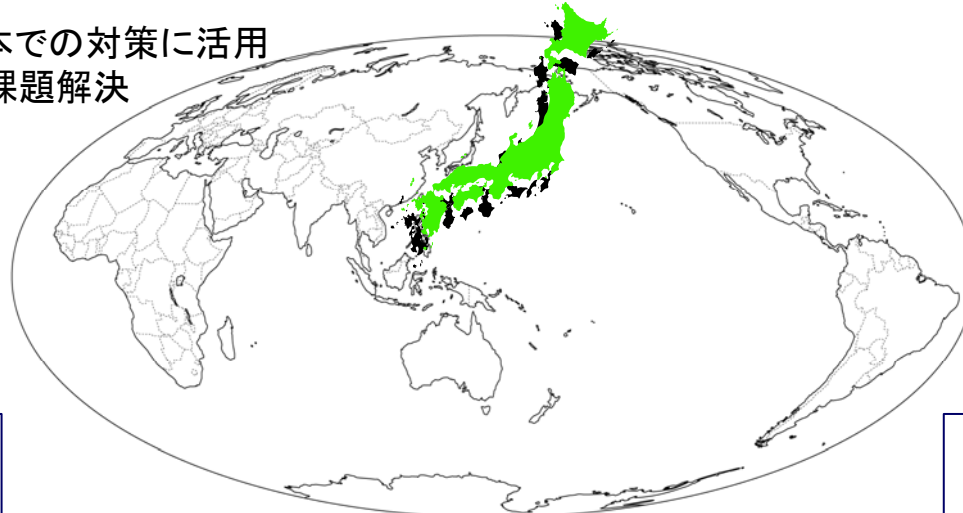
防災科学技術の国際展開推進

防災科学技術分野で強いリーダーシップを発揮し、国際的に尊敬される国づくり

防災力向上により世界の持続可能な成長を実現するために、諸外国の事情・特性に応じた協力や我が国の優れた研究成果の国際展開を図ることを目標とした、グローバルな視点での防災科学技術による国際貢献の推進

【日本にとってのメリット】

観測データや研究成果を日本での対策に活用
多国間連携による地球規模課題解決
メイドインジャパン世界標準
日本の外交での優位性
市場の安定確保



【現状】

研究者のコネで共同研究
資金調達力が必要
ODA案件応募が減少

【課題】

☆系統立てた推進
☆組織運営力育成
☆ニーズの体系的把握

特定課題重点
&
世界共通課題

研究開発
&
社会実装

2国間協力
&
多国間共同体で

土砂・風水害
(法面崩壊/液状化/台風等/集中豪雨 etc.)

地震・津波・火山噴火
(プレート間/内陸/火砕流 etc.)

・自然現象解明 ・観測網整備 ・観測データ共有 ・早期検知/警報
・ハザード/リスク評価 ・防災対策立案 ・対策普及活動 etc.

【資金】

- ・地球規模課題対応国際科学技術協力
- ・科学技術振興調整費
(アジア・アフリカ科学技術協力の戦略的推進)
- ・科学研究費補助金
- ・戦略的国際科学技術協力推進事業
- ・日本学術振興会招聘制度
- ・国費留学生制度
- ・etc.

【体制】

国際科学技術協力
国際共同研究
研究交流
外国人研究者招聘
留学生交換

【重点事項】

- 災害に強い社会を構築
- 地域の安定的成長に貢献
- 世界最先端の研究拠点構築
- 防災分野でのリーダーシップ発揮

地球規模課題対応国際科学技術協力事業
(H21 & H22年度開始)

開始 終了 期間

ブータン	土砂	ブータンヒマラヤにおける氷河湖決壊洪水に関する研究	名古屋大	H21	H23	3
バングラデシュ	風水害	高潮・洪水被害の防止軽減技術の研究開発	京都大	H22	H27	5
インドネシア	地震・火山	インドネシアにおける地震火山の総合防災策	東京大	H21	H25	4
フィリピン	地震・火山	フィリピン地震火山監視強化と防災情報の利活用推進	防災科研	H22	H27	5
インド	防災・地震	自然災害の減災と復旧のための情報ネットワークに関する研究	慶大	H22	H27	5
クロアチア	土砂・風水害	クロアチア土砂・洪水災害軽減基本計画構築	新潟大	H21	H26	5
ペルー	地震	ペルーにおける地震・津波減災技術の向上に関する研究	千葉大	H22	H27	5
南アフリカ	地震	鉱山での地震被害低減のための観測研究	立命館大	H22	H27	5

平成 22 年 2 月 10 日

文部科学省 研究開発局
地震・防災研究課 防災科学技術推進室

防災科学技術に関する国際的な研究事業に関する調査の御願い

現在実施または、近い将来実施予定の、防災科学技術に関する国際的な研究事業についてお知らせ下さい。2/26（金）までに、ご回答いただきたく、宜しく御願います。

実施研究機関名：
研究代表者：
相手国：
相手国実施機関：
日本側の共同研究者：
研究事業名：
実施期間：
実施にあたっての資金：
具体的な実施事項：